

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391300114
事業所名	認知症対応型共同生活介護 ひょうたん山そよ風

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地域の方とは、併設事業所と連携しながら交流が行われており、地域で行われている行事にホームからも参加する取り組みが行われている。地域の保育園や小学校とは、廃品回収や行事の見学等を通じた交流が行われている。また、小規模多機能のフロアを活用しながら、ボランティアの方の来訪等、地域の方との交流の機会がつけられている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	会議については、併設事業所と連携しながら開催しており、出席者に事業所全体の取り組みを知ってもらう機会につなげている。また、会議の際にはから地域の方の参加が得られていることで、地域に関する定期的な情報交換の機会にもつながっている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	ホームには生活保護の方が生活していることで、市担当部署との情報交換が行われている。また、併設事業所とも連携しながら、地域包括支援センターとの情報交換等の取り組みも行われている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	ホームで行われている行事等(夏祭り、節分会等)に家族の参加を呼びかけ、交流の機会をつくっている。家族からの要望等には、内容にも合わせながらホーム管理者や運営法人の担当職員による対応が行われている。また、毎月のホーム便りの作成が行われている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	—	—	×	○	×	○	○	○	○	○	◎